

第86期末（2020年11月20日）

基準価額 11,017円

純資産総額 243百万円

第81期～第86期  
(2020年5月21日～2020年11月20日)

騰落率 2.0%

分配金合計 900円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## おとなのお財布

# <奇数月定額払出型>

追加型投信／国内／不動産投信 **特化型**

## 交付運用報告書

作成対象期間：2020年5月21日～2020年11月20日

第81期（決算日2020年6月22日） 第84期（決算日2020年9月23日）

第82期（決算日2020年7月20日） 第85期（決算日2020年10月20日）

第83期（決算日2020年8月20日） 第86期（決算日2020年11月20日）

### 受益者の皆様へ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「おとなのお財布<奇数月定額払出型>」は、このたび第86期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ」リート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所に上場している「リート（不動産投資信託）」に投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行うとともに、毎月の払出（分配）水準に基づきこれを上限として、投資者に対し資金の払出し（分配）を行うことをめざしました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506** (コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書（全体版）

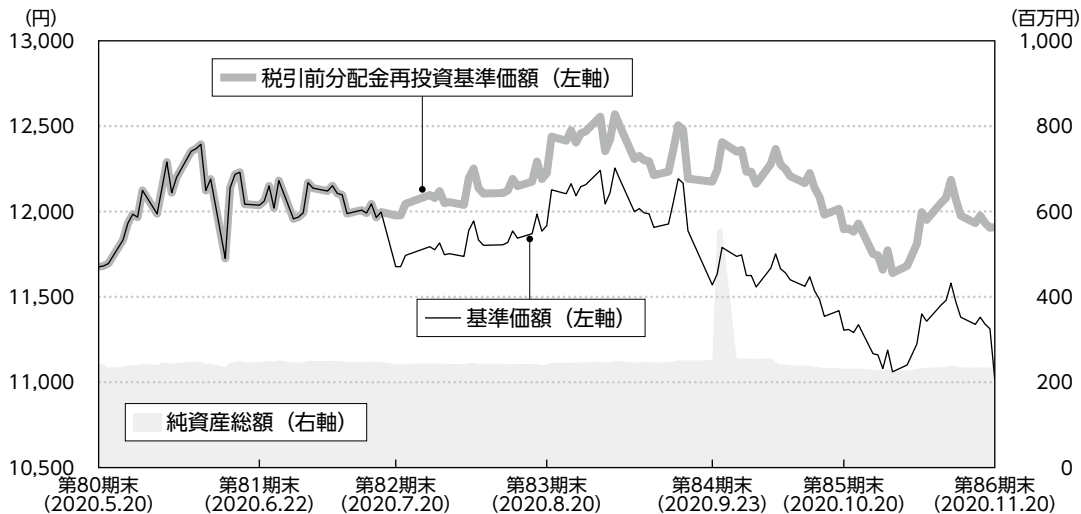
**UD FONT**

ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

# 運用経過

2020年5月21日～2020年11月20日

## 基準価額等の推移



第81期首	11,676円	既払分配金	900円
第86期末	11,017円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・当作成期初から6月上旬にかけて、国内における緊急事態宣言の全面解除に伴う経済活動再開への期待の高まりを背景にJリート市場が上昇したこと
- ・11月以降、新型コロナウイルスに対する有効なワクチンの開発に期待が高まりJリート市場が上昇したこと

### <下落要因>

- ・10月上旬から下旬にかけて、大型の公募増資が実施され需給環境が悪化したことによりJリート市場が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第81期～第86期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	65円	0.549%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,815円です。
(投信会社)	( 33)	(0.277)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 29)	(0.250)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	45	0.379	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	( 45)	(0.379)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.006	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	( 1)	(0.006)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	110	0.934	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

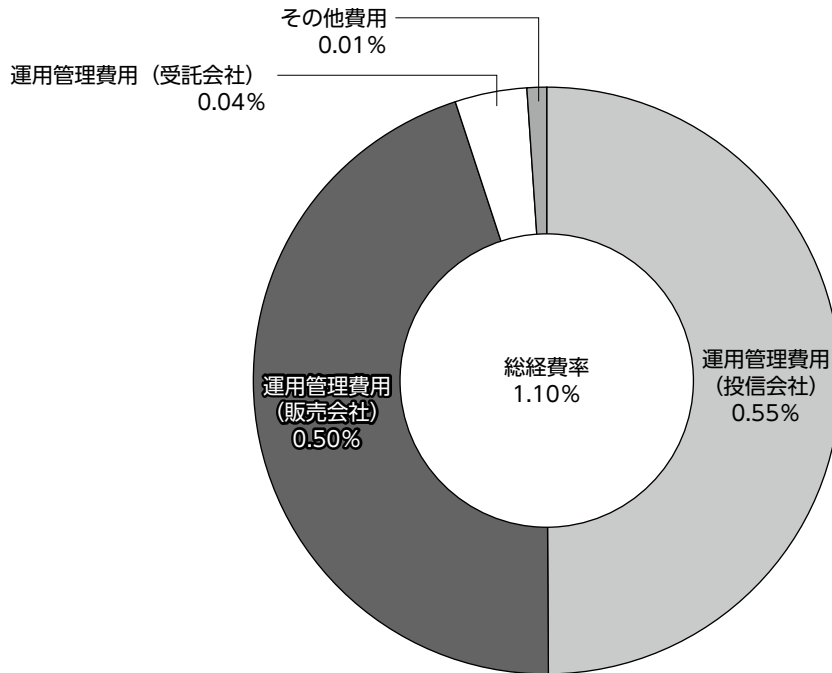
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.10%**です。



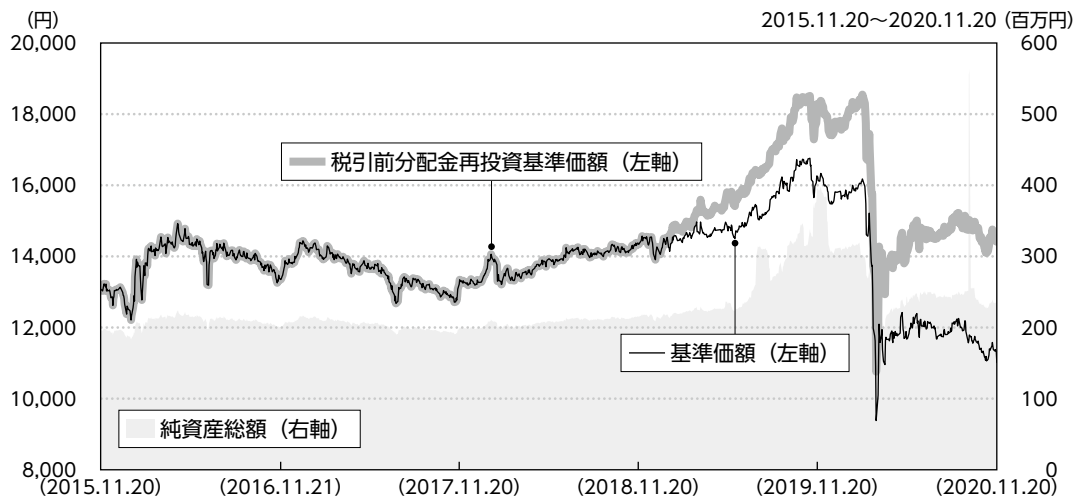
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2015年11月20日の基準価額にあわせて再指数化しています。

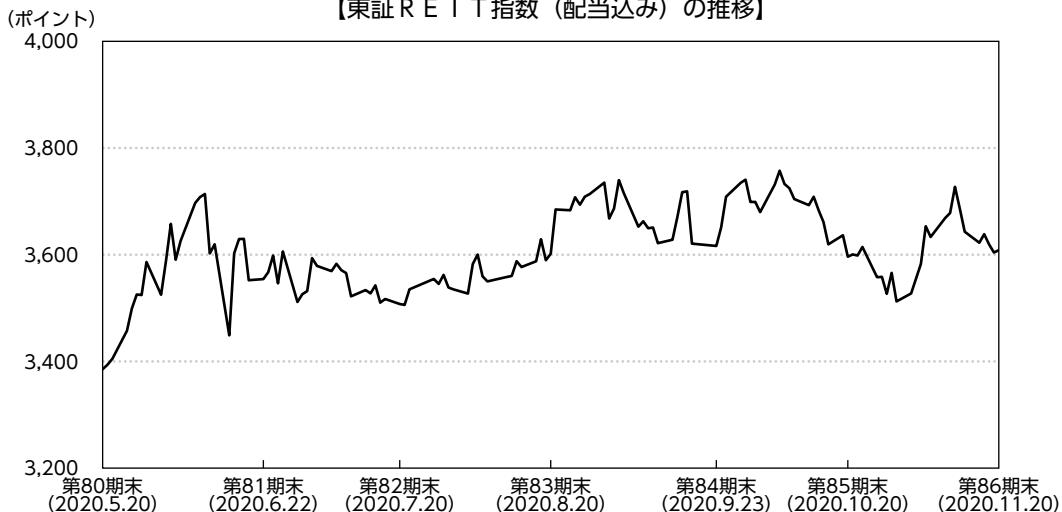
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2015年 11月20日	2016年 11月21日	2017年 11月20日	2018年 11月20日	2019年 11月20日	2020年 11月20日
基準価額（分配落）	（円）	13,080	13,349	13,219	14,365	16,254	11,017
期間分配金合計（税引前）	（円）	－	0	0	0	1,800	1,800
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	（％）	－	2.1	△1.0	8.7	27.3	△21.1
参考指数騰落率	（％）	－	2.2	0.1	12.1	29.1	△21.4
純資産総額	（百万円）	196	200	198	215	395	243

(注) 参考指数は東証REIT指数（配当込み）です。

## Jリート市況

【東証REIT指数（配当込み）の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

当作成期のJリート市場は上昇しました。

当作成期初から2020年6月上旬までのJリート市場は、国内における緊急事態宣言の全面解除に伴う経済活動再開への期待の高まりを背景に、相対的に割安なホテル系銘柄や商業施設系銘柄を中心に大きく上昇しました。その後、9月末にかけては国内外における新型コロナウイルスの感染者数増減やGoToキャンペーンなどの政策対応に一喜一憂する展開となりました。10月上旬以降は大型の公募増資が実施され需給環境が悪化したことにより下落する場面もありましたが、その後は新型コロナウイルスに対する有効なワクチンの開発に期待が高まったことから反転上昇し、Jリート市場は前作成期末と比較すると上昇して当作成期末を迎えました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率をおおむね高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

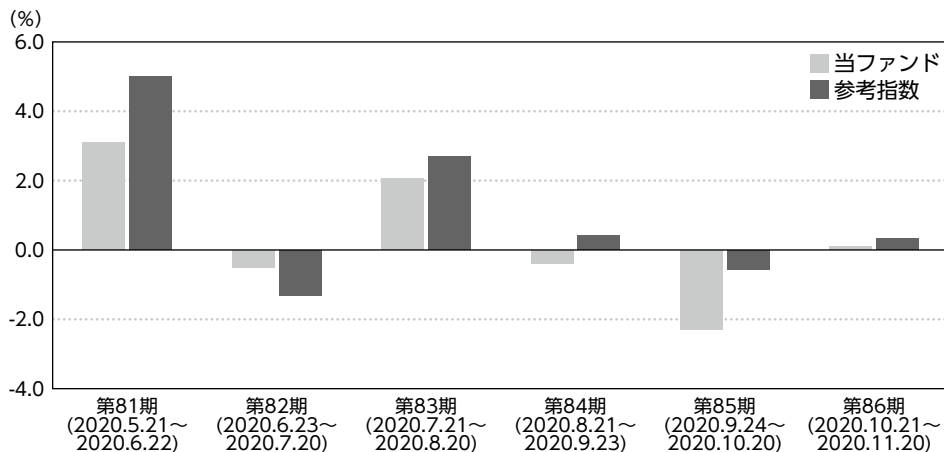
### ■マザーファンド

国内の金融商品取引所に上場しているＪリートに投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

組入銘柄の選択については、相対的に安定したインカム収入が期待できるＪリートを重視し、信用度・流動性等を勘案したポートフォリオの構築を行いました。

当作成期はＪリート市場の値動きが大きくなると判断された場面において、Ｊリートの実質的な組入比率を引き下げ、市場の変動が基準価額に与える影響の抑制に努めました。

## 参考指数との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数は東証REIT指数（配当込み）です。

当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+2.0%となり、参考指数騰落率（+6.6%）を下回りました。これは大口の資金流入に伴う売買費用が発生したことや、Ｊリート市場の値動きが大きくなると判断された場面においてＪリートの組入比率を引き下げたことなどの影響によるものです。

（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 払出金（分配金）

当作成期の払出金は、約款が定める払出水準に基づき、下表の通りとさせていただきます。  
 なお、払出しに充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
	2020年5月21日 ～ 2020年6月22日	2020年6月23日 ～ 2020年7月20日	2020年7月21日 ～ 2020年8月20日	2020年8月21日 ～ 2020年9月23日	2020年9月24日 ～ 2020年10月20日	2020年10月21日 ～ 2020年11月20日
当期分配金（税引前）	－	300円	－	300円	－	300円
対基準価額比率	－	2.50%	－	2.53%	－	2.65%
当期の収益	－	11円	－	50円	－	12円
当期の収益以外	－	288円	－	249円	－	287円
翌期繰越分配対象額	5,751円	5,463円	5,508円	5,259円	5,304円	5,017円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所に上場しているJリートに投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

### ■マザーファンド

今後のJリート市場は短期的には新型コロナウイルスの感染状況やワクチン開発などの報道に影響を受けて上下動の激しい相場になる可能性があります。中長期的には以下の材料から底堅い推移を見込んでいます。

リート各社は投資主価値向上に向けた施策を積極的に実施しています。具体的には保有物件の質的向上や資産価値顕在化を目的とした物件入れ替え、投資主とリーートの資産運用会社双方の利益に寄与することを目的とした資産運用報酬体系の変更、中長期的な事業の継続性に着目したESG（環境・社会・企業統治）への積極的な取り組みを実施するリートが増加しています。新型コロナウイルスの影響により事業環境が変化する中ではありますが、今後も投資主価値向上に寄与する各社の自発的な取り組みの強化が期待されます。

Jリート市場は新型コロナウイルスの影響が依然として残るものの、リート各社の決算開示が進むとともに好材料・悪材料がともに認識され、過度に織り込まれていた懸念が後退しています。また、世界的に緩和的な金融政策が採用され、低金利の状態が継続する環境下では投資家の利回り資産に対する需要が高まると考えられます。相対的に業績の安定性や財務面の健全性が高く、配当利回りや純資産価値（NAV）の観点から割安であることに加え、能動的に投資主価値向上を目指すリートには長期的な資金流入が期待できると考えています。

このような環境の下、引き続き、相対的に安定したインカム収入が期待できるJリートを重視した銘柄選択を行い、信用度・流動性等を勘案してポートフォリオの構築を行います。また、Jリーートの価格変動リスクが高まると判断される局面では、組入比率を調整することでリスクの軽減を図ります。



# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第86期末 2020年11月20日
ニッセイリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンド	100.2%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

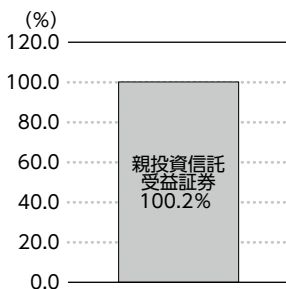
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

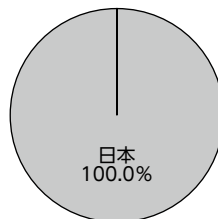
項目	第81期末 2020年6月22日	第82期末 2020年7月20日	第83期末 2020年8月20日	第84期末 2020年9月23日	第85期末 2020年10月20日	第86期末 2020年11月20日
純資産総額	247,016,778円	241,675,817円	240,894,893円	251,808,566円	231,594,839円	243,502,200円
受益権総口数	205,214,891口	206,966,216口	202,149,076口	217,641,946口	204,862,647口	221,021,242口
1万口当たり基準価額	12,037円	11,677円	11,917円	11,570円	11,305円	11,017円

(注) 当作成期間(第81期~第86期)中における追加設定元本額は318,607,447円、同解約元本額は305,921,555円です。

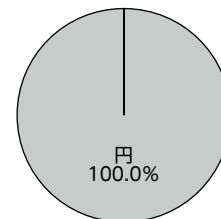
### 資産別配分



### 国別配分



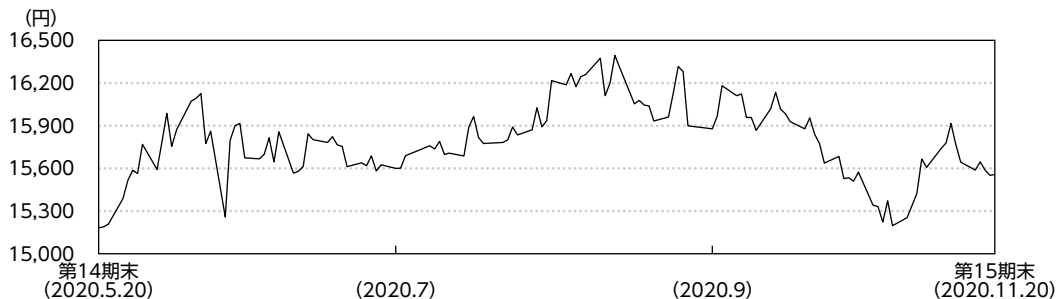
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年11月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

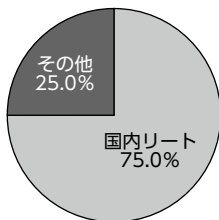
銘柄名	通貨	比率
ジャパンリアルエステイト投資法人	円	5.6%
野村不動産マスターファンド投資法人	円	4.9
日本ビルファンド投資法人	円	4.4
アドバンス・レジデンス投資法人	円	3.9
大和ハウスリート投資法人	円	3.7
ラサールロジポート投資法人	円	3.6
日本リートールファンド投資法人	円	3.4
イオンリート投資法人	円	3.1
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	円	3.1
日本プライムリアルティ投資法人	円	2.9
組入銘柄数		34

### ■ 1万口当たりの費用明細

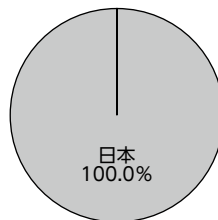
2020.5.21~2020.11.20

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	62円 (62)
その他費用 (その他)	0 ( 0 )
合計	62

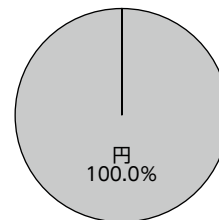
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



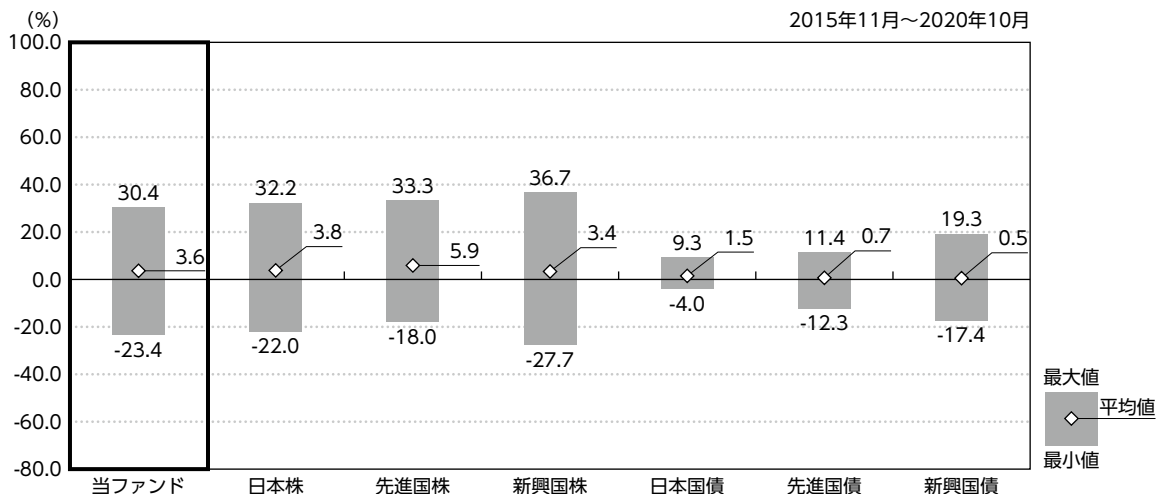
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2020年11月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

\*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## 指数に関して

### ■代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび T O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

# お知らせ

## ■ 自社による当ファンドの設定解約状況

当作成期における自社による当ファンドの設定解約はありません。なお当作成期末現在、自社による当ファンドの保有残高は165百万円（元本150百万円、ファンド全体の67.9%）です。当社は当該保有分を解約することがあります。

# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／不動産投信 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特化型</span>	
信 託 期 間	2013年10月8日～2021年11月22日	
運 用 方 針	ニッセイJリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンド 受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所に上場しているJリート（不動産投資信託）に投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行うとともに、毎月の払出（分配）水準に基づきこれを上限として、投資者に対し資金の払出し（分配）を行うことをめざします。	
主要運用対象	おとなのお財布 <奇数月定額払出型>	ニッセイJリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンド 受益証券
	ニッセイJリート・ インカム・アンド・ ストラテジーマザーファンド	国内の金融商品取引所に上場しているJリート
運用方法	おとなのお財布 <奇数月定額払出型>	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券（マザーファンドおよび上場投資信託証券等を除きます）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。
	ニッセイJリート・ インカム・アンド・ ストラテジーマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券（上場投資信託証券等を除きます）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、下記に定める毎月の払出水準に基づき、これを上限として払出額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、払出しを行わないことがあります。 ※毎月の払出金（分配金）水準 奇数月の決算日：300円（1万口当たり、税引前） 偶数月の決算日：払出し（分配）を抑制する方針	